

潮の香りと緑ゆたかな坂町

の
広報

さか

平成25年

4月号

第680号

平成25年4月1日発行



関連記事 P14

今月の主な内容

■平成25年度町長施政方針…P2 ■議会報告…P13

人口と世帯 男 6,453人(−5) 女 6,958人(−1) 計13,411人(−6) 世帯数 5,623世帯(+1) 3月1日現在(前月比)

発行所／〒731-4393 広島県安芸郡坂町役場企画財政課 電話(082)820-1507 印刷所／株式会社呉精版印刷 電話(0823)22-5011
坂町のホームページアドレス <http://www.town.saka.hiroshima.jp/sakacho/>

状況にあり、社会保障関係経費の増が見込まれるなど、依然として、地方公共団体を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

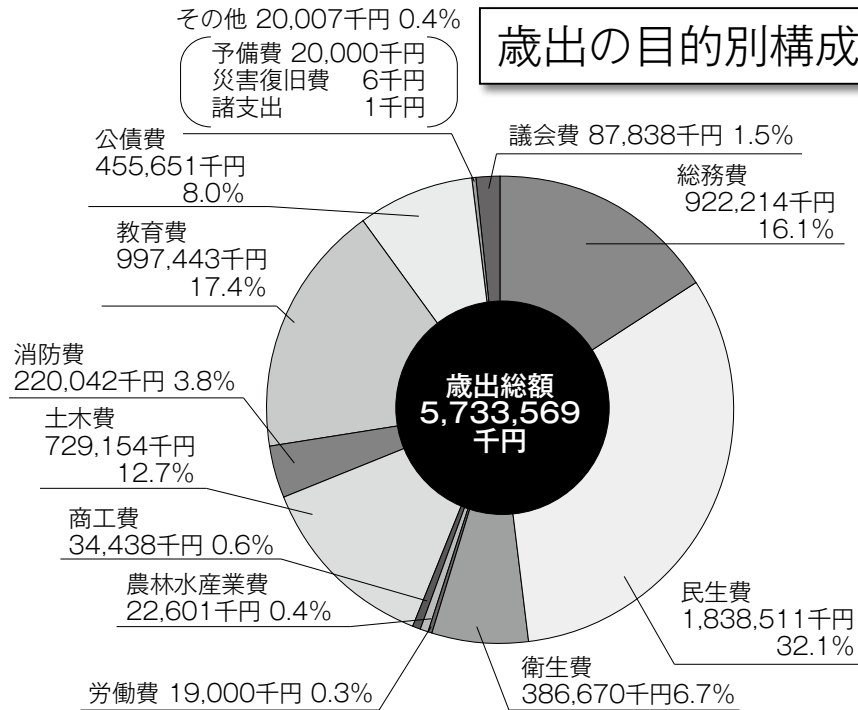
このような状況の中で、本町では、これまでも職員数の削減や事務事業の見直しなどに取り組んできましたが、現下の厳しい財政状況の中で、単独町制の維持を図るためには、身の丈に合った、自主自立の行財政運営と一層の行財政改革が必要と考えています。

このため、坂町第2次行政改革推進計画に基づき、満足度の高い行政サービスの提供、自主自立が可能な行財政基盤の確立など、行財政全般にわたる改革を引き続き積極的かつ計画的に進めます。

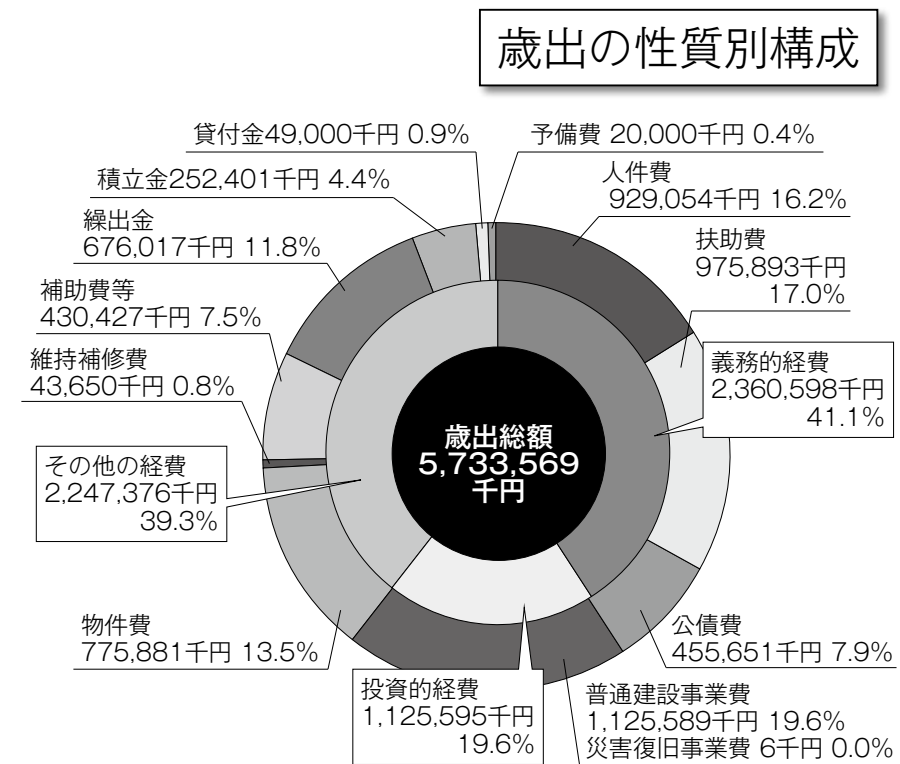
また、行政の「公助」に頼るだけではなく、行政と町民が役割分担を行い、一体となって物事に取り組む「共助」が重要でもあると考えています。

平成25年度 当初予算

歳出の目的別構成



歳出の性質別構成



◆新たなまちづくりに向けて
本町は、単独町制を維持し、自主自立の行財政運営を図るための施策として、子育て支援住宅等の整備を行い、若い世代の定住化を促進しています。

この結果、平成ヶ浜地区や坂東の一部地区では、新たな住宅も整備され、人口

が増加したものの、その他の地区では少子高齢化が進み、過疎化も懸念される状況となっています。

こうした状況から、地域間の格差の解消と均衡ある地域の発展を図り、世代間の循環が可能な地域を構築するため、県道坂小屋浦線の道路整備、横浜地区など

の海岸整備、堰堤を含む河川整備の三位一体の防災対策を実施し、安全・安心なまちづくり、住環境づくりによって、防災面はもとより、民生の安定、若者の定住できる環境整備を行います。

本町の発展のためには、これらの整備が必要不可欠なものと考えていますが、これらの整備に必要な経費に対して、財源の確保が十分にされない場合には、議会の皆様とご相談をしながら、事業の性格に応じた新たな財源の確保についても検討していかなければならないと考えています。

今後とも親から子へ、子

平成25年度

町長施政方針

～親から子へ、子から孫へと歴史・文化・地域を守っていくことのできるまちづくりを目指して～

吉田町長は、3月4日に開会した平成25年第1回坂町議会定例会で、平成25年度施政方針を述べました。その内容と坂町教育委員会の教育行政方針を要約して紹介します。

なお、施政方針などの全文は、町ホームページや役場企画財政課で閲覧できます。

◆社会的展望と課題

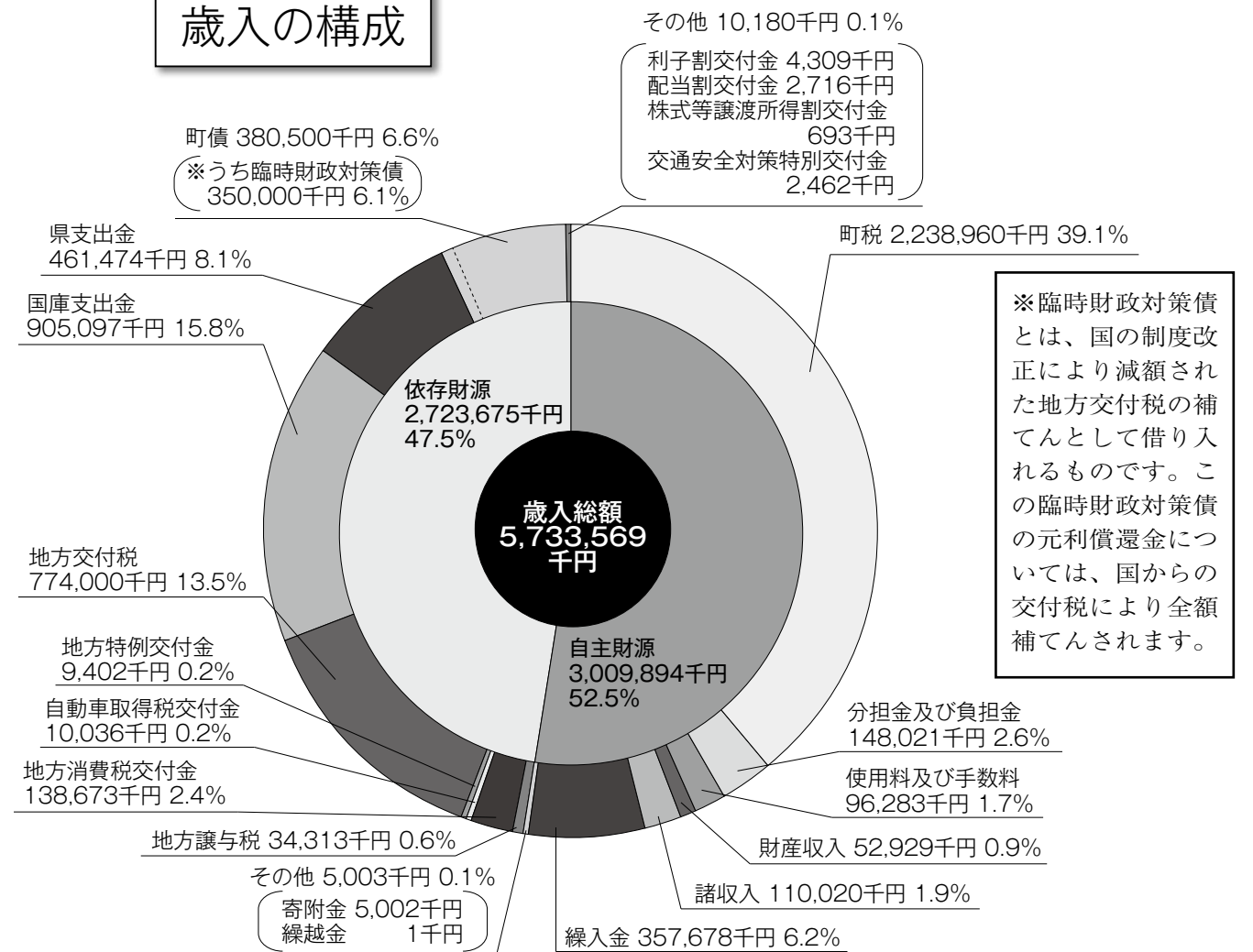
我が国の経済は、円高、デフレ不況が長引き、企業収益を中心に依然として厳しい状況にあり、世界的な

金融経済危機による景気の下振れも懸念されています。一方、国においては、新内閣の発足とともに、景気回復への期待を先取りする形で、円安が進み、株価も回復し始めています。こうした改善の兆しから、平成25年1月に閣議決定された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」をはじめとする適切な政策対応による景気の回復が期待されています。

しかしながら、本年度では地方税収の増は期待できず、地方交付税も不透明な

平成25年度 当初予算

歳入の構成



から孫へと歴史・文化・地域を守っていくことのできるまちづくりを目指して、各地区住民福祉協議会とも更なる連携を深め、将来にわたって足腰の強い坂町を町民の皆様と一体となって創造していきます。

◆平成25年度重点施策

平成21年度に策定しました「坂町第4次長期総合計画」は、平成31年度を目標年次とした10年間の計画としており、計画の推進にあたっては、坂町の将来像である「自然に恵まれた健康で文化的な住みよいまち」の実現を目指し、町民と行政がまちづくりの目標を共有し、さらに互いに協力することによって、豊かな生活や地域社会を創造し、「小さくても光り、輝きのあるまち」にするため、私以下全職員が一人となり、全力を挙げて事務事業に取り組み、本年度は、主として次の諸事業を展開します。

○公共下水道水洗化率の向上
○下水道長寿命化計画事業の推進

○雨水浸水対策の推進
本町の公共下水道事業については、昭和61年度に事業着手して以来、早期完成を目指し鋭意、整備を進めてきました。平成16年度には、平成ヶ浜等の開発区域を含め約380haの面整備が完了し、市街化区域面積に対する整備率は概ね100%となりました。生活環境の改善や公共用水域の水質保全、下水道事業経営の安定化を推進するため、一日も早い水洗化率100%を目指し努力します。

また、昨年度は、浜宮ポンプ場において、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上のため、場内の滯水池の整備を実施しました。公共下水道計画区域外の地域では、小型浄化槽の補助制度を活用していただき、町内全体の快適で健康的な生活環境づくりを推進します。

○平成ヶ浜地区及びその周辺地区の都市機能の充実

平成ヶ浜地区及びその周辺においては、民間企業、マンション、戸建住宅、大型商業施設などが進出し、警察学校、県警機動隊、町営・県営住宅などの施設も整備されました。引き続き、町民が豊かな生活を創造できる「行政・教育・文化など多様な都市機能が集積した中心拠点」の充実を図ります。

○県道坂小屋浦線の整備

県道坂小屋浦線は、坂地区の主要な道路である町道総頭川1号線が、JＲと平面交差していること、狭隘であること等から、防災上、安全上、交通渋滞などの様々な課題を解決するための道路として、平成13年3月に都市計画決定が行われました。

関係地権者をはじめ、多くの方々にご理解をいただき、平成ヶ浜から町道総頭川1号線までを1工区とし

て、現在用地買収を進めています。

県道坂小屋浦線は、坂地区市街地の骨格道路として、まちづくりを行ううえで是非必要な道路であり、引き続き関係地権者の方々の更なるご理解、ご協力をいただきながら、早期の建設工事着手に向けて広島県と共に事業を推進します。

○都市再生整備計画事業の推進

生活基盤に欠かせない町道等公共施設の整備については、少子高齢化への対応、福祉環境及び防災機能の充実、交通利便性の向上、町内循環バスの運行など、より快適で安全な生活環境の創出と生きがいと味わえる生活空間の形成を目指す中で、坂地区においては住民代表による「坂地区まちづくり協議会」から道路整備などの「まちづくり方針」が提案されています。

本町としても、この「まちづくり方針」の実現に向

図るため、本年度は、横浜ポンプ場の浚渫工事を実施します。

○環境美化事業の推進

ごみの排出抑制、資源化、リサイクル等については、資源ごみの処理施設と一時保管施設を集約したりサイクルセンター坂を拠点として、町民・事業者のご協力をいただきながら、ごみの減量化等の推進に努めます。廃棄物の処理に関しては、ダイオキシン類の発生を抑え、自家発電も行う「熱分解ガス化溶融炉」を導入した安芸クリーンセンターで、広域処理体制による可燃ごみ処理の適正化・効率化をしています。また、平成14年12月の施設本格稼動から10年が経過し、安芸クリーンセ

ンターの今後のあり方について、検討すべき時期がきています。

一方、国においては、これら既存施設の性能を維持しつつ長寿命化を図ることにより、財政負担の軽減や、

けて地域住民と協働して創意と工夫を行いつつ、1期計画に引き続き、平成23年度から2期計画として「都市再生整備計画事業」を導入し、良好な住環境を支える生活道の整備を目的として、円滑な通行の確保と併せて県道坂小屋浦線とのアクセス向上のための新設道路などを積極的に推進します。

地域において身近に利用される生活道路については、道路の改良や歩道の整備による安全対策を進めます。町内道路の一方通行等については、道路改良等に伴い地域住民の理解が得られる場所について、関係機関と協議のうえ、人にやさしい道づくりを推進します。

○町内循環バス事業の推進

生活バス交通は、地域住民、特に高齢者をはじめ交通弱者の方々にとって欠くことのできない公共交通手段であるため、病院、役場及び坂駅等に手軽に行ける

より一層の地球温暖化対策を推進することを目的として、既存施設の長寿命化に関する支援制度を導入し推進しています。

本町としても、安芸クリーンセンターの今後のあり方については、この制度の主旨にのっとり、関係者のご理解、ご協力をいただきながら、安芸地区衛生施設管理組合や関係町と連携し、既存施設の長寿命化を推進していきたいと考えています。

環境問題については、地球温暖化防止・二酸化炭素の排出削減を推進するため、全世帯に配布しましたマイバッグを活用していただき、引き続きレジ袋の削減に努めています。また、町内に設置している外灯について、引き続き、蛍光灯からLED照明への取替えを進めます。

○海岸保全施設整備事業の推進

台風などによる沿岸部の越波対策について、横浜海

町民ニーズに沿った町内循環バスを平成15年4月から運行し、多くの町民の方々に利用していただいています。

平成16年度は2台目のバスを購入し、小屋浦地区及び坂地区にも可能な範囲で延伸しました。

平成21年度には、坂町循環バス事業の継続運行とバス車両の長寿命化のため、新規にバス1台を購入しました。

また、平成23年度、24年度の2箇年で、バス利用者のもとより、ウォーキング中の休憩や急な雨等の避難場所として、利用者の多い坂駅等のバス停4箇所に日よけ、ベンチを設置しました。

今後も、運行形態の検討も併せ、引き続き現路線の更なる利用促進を図るよう努力します。

岸のうち、横浜東一丁目の町護岸及び横浜小学校付近の県護岸の嵩上げ等、海岸線の整備は、県が国庫補助事業として工事を実施し、完成しました。

離岸堤の設置については、地盤改良工事まで完了しており、本体部分の早期完成に向け、県や国に強く要望していきたいと考えています。

○避難訓練の実施

○災害時要援護者避難支援制度の推進

本年度は、東日本大震災の津波災害等を踏まえ、県の津波・高潮による浸水想定に基づき、津波・高潮ハザードマップを作成するとともに、海抜・標高表示看板を設置します。

災害から住民の身を守るため、有事の際の避難場所の確認や避難経路を地域住民とともに検証し、よりよい避難方法を身につけることを目的として、平成23年度に続き避難訓練を実施し

ます。この避難訓練の検証で、皆様からのご意見等を次の避難訓練に繋げていき、回数を重ねることに、より良い避難方法を確立し、町民の生命と財産の保護のため、体制強化に努めます。

災害時要援護者避難支援制度については、住民福祉協議会、民生委員・児童委員の皆様をはじめとする避難支援関係団体のご協力のもと、自力で避難することが困難な方を身近な地域で支えあう仕組みを、地域の皆様と共に築いていきます。

○福祉事務所の充実

様々な福祉サービスの提供については、近年、ますます多様化していますが、福祉事務所を中心に相談支援体制や就労支援体制を充実し、サービスの多様化に対応します。

○健康づくりの推進

保健・医療については、昨年度見直しました、町健康増進計画である「健康

さか21」に基づき、保健セ

ンターを拠点に、健康教育・健康相談・訪問指導に加え、ウォーキングを中心とした運動教室の開催など、町民の皆様の健康づくりに取り組みます。

また、安心して出産や子育てのできる町を目指して、不妊治療と不育治療を受けている方に治療費の助成を実施するとともに、乳幼児への家庭訪問の強化や育児相談、母親学級を開催するなど母子保健医療の充実に取り組みます。

○第5期介護保険事業計画の推進

○小規模特別養護老人ホームの整備

○介護予防の推進

高齢者福祉については、昨年度、認知症高齢者グループホームが稼動しました。引き続き介護基盤の整備を図るため、第5期介護保険事業計画を推進し、本年度は小規模特別養護老人ホームの整備を本格的に進

○生涯学習活動、スポーツ・文化活動の振興

心の豊かさや、生きがいのための学習意欲の増大、社会経済の変化への対応が求められる中「人々が生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会の構築を目指します。

このため、町民センターや図書館等を活動拠点として位置づけ、今後とも、地域における生涯学習に取り組む体制を整備し、誰もがあらゆる機会を通じて、気軽に学習活動ができるよう、学習環境の整備を図ります。

スポーツ・文化活動の振興は、町の発展だけではなく、人間性を豊かにし、健康で文化的な生活を営む上で極めて重要な役割を果たすものです。特に新しく住民になられた方々との融和を図り、みんなで坂町をつくる意識を高めるため、スポーツ・文化活動の更なる充実に努めます。

○小・中学校英語教育の充実

国際化がますます進展する中、子どもたちに、これからの国際社会に生きる必要な基礎を身につけさせるため、小学校においては、英語に慣れ親しませる学習を、本年度も引き続き実施します。また、小学校5・6年生では、学習指導要領に示されている外国語活動を引き続き実施し、充実させます。

中学校においては、学習指導要領の改訂により、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことが外国語の目標となっているため、昨年度に引き続き、外国語指導助手により、コミュニケーション能力の向上を図る教育を充実させます。

○防災教育の充実

○環境学習の推進

学校施設の耐震化及び改修整備については、児童生徒の安全確保及び災害時における地域住民の避難場所

めます。

また、要介護となるのを防止する介護予防対策を充実するとともに、高齢者の死亡要因の上位となっている「肺炎」の予防を図るため、引き続きインフルエンザワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンの接種の助成を実施します。

さらには、一人暮らし高齢者や認知症の方の増加など多様化している高齢者に関する様々な課題や相談に対応するため、地域包括支援センターを核として関係機関が連携する高齢者安心見守りネットワークの構築に引き続き取り組むとともに家庭訪問を充実させ、高齢者の地域生活を支えるまちづくりを推進します。

福祉医療費助成事業については、「重度心身障害者医療費助成制度」、「乳幼児等医療費助成制度」及び「ひとり親家庭等医療費助成制度」の医療費の一部負担金を昨年度から減額し、対象となる利用者の負担軽減を図っています。

を確保するため、施設の耐震化と併せ教育環境の向上を図るための改修及び環境負荷の低減効果が期待される太陽光発電システムの導入などを計画的に推進してきました。

その結果、平成23年度までに、小中学校4校の整備が完了し、全ての学校施設の耐震化が図られたとともに、校舎等の改修整備により教育環境の向上が図られました。

今後は、これらの学校施設の適切な点検及び維持管理に努めるとともに、大雨土砂災害や地震、津波などによる災害から児童生徒の身を守るための定期的な避難訓練の実施や町主催の避難訓練に積極的に参加するなど防災教育を充実させます。

また、太陽光発電システムを導入した小学校においては、本年度も引き続き環境教育を実施し、子どもたちが環境についての理解を深め、環境を大切にし、環

減を図っています。

○保育施設民営化の推進

○次世代育成支援事業の実施

少子化や核家族化の進行により、保育環境に対するニーズが多様化している中で、次世代を担う若い人々の定住化を促進し、町の活性化を図るため、坂町次世代育成支援行動計画に基づき、全ての子どもが心身共に健やかに育ち、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

本年度は、坂保育所民営化の推進及び児童虐待防止のための広報、啓発や体制強化を進めます。

○（仮称）町民交流センターの整備

昨年度から整備を進めています（仮称）町民交流センターについては、平成26年度前半の完成を目指して、本格的な建設工事を実施します。

新しい施設は、災害時における坂地区の避難場所と

境の保全に配慮した行動がとれるよう、環境問題についての学習を推進し、中学校においても、小学校での学習の成果を踏まえ、継続的、発展的に環境学習に取り組んでいきます。

○都市公園の整備

公園緑地等の整備については、これまで計画的に実施し、平成16年度からは「21世紀健康増進公園ネットワーク計画」に基づき、遊歩道や都市公園等の整備を計画的に行いました。

近年、本町では、平成ヶ浜地区に戸建住宅、民間のマンション、さらには子育て支援住宅及び併設保育園建設等、各種事業の推進により、良好な市街地の形成を進め、人口増加など成果が現れています。

また、坂本郷地区、横浜地区においても、民間の住宅建設等により、人口が増加しています。

これらにより、子どもの人口が増加する中で、子ど

して位置づけ、地域住民の安全確保に努めるとともに、スポーツ・文化・コミュニティなど多様な機能を有する町民の交流拠点として整備します。

○魅力ある図書館サービスの充実

図書館においては、蔵書を計画的に整備し、引き続き資料の充実に努め、子どもへの読み聞かせや読書会などの学習の場を積極的に提供し、町民の皆様が気軽に利用できる魅力ある図書館にします。

○坂町史の編さん

これからの時代に活躍する子どもたちへ、私たちが歩んできた道を正確に残すことにより、郷土愛を育て、将来の文化発展に寄与することを目的に町内外の多くの皆様の協力を得て、坂町史の刊行に至りましたことに厚く御礼申し上げます。今後、刊行しました町史の普及・活用に努めます。

ものための遊び場が少なく、以前より、子育て世代の保護者から、子ども専用の遊び場の確保について、強い要望を受けています。

子どもの遊び場を充実させ、安心して子どもを生み育てる環境をつくるため、子育て世代がふれあい、交流できるスペースの整備が必要と考えます。

このため、現在、広島県が管理しています、さかなぎさ公園内の広場を有効活用し、坂地区、横浜地区、小屋浦地区など、坂町内の全ての子どもが利用できる、年齢に応じた遊具、休憩施設等を設置した、「（仮称）さかなぎさ公園子ども国」を整備します。

あわせて、本年度も引き続き、既存公園の整備改修を実施します。

○ウォーキングトレイル事業の推進

国から補助採択を受けている「ウォーキングトレイル事業」は、「潮の香ルート」に引き続き、「ふれあいルート」「やすらぎルート」が完成し、現在、「坂めぐりルート」の整備に着手していますが、一日も早い完成を目指します。

○住宅リフォーム補助事業の実施

地域経済の活性化及び居住環境の向上、住宅の長寿命化の促進のため、町内の建築事業者等を活用して自己の所有する住宅のリフォーム工事を行う方に対し、住宅リフォーム補助事業を実施します。

○ベイサイドビーチ坂の活用

広島県が整備した、全区間1,200mの西日本最大級の人工海浜であるベイサイドビーチ坂については、海を活かした活動的なレクリエーションと人々のふれ

あいの場として、町内外から多数の方々の利用をいただき、昨年度は「みなとオアシス」制度に登録されました。

今後、本町としては、施設の有効活用及び利便性の向上を図るための施策や海水浴シーズンにおける国道の渋滞緩和、歩行者の安全対策などについて、引き続き県等の関係機関へ働きかけます。

○土曜日の隔週開庁の実施

平日、役場に来庁することができない方のために、住民票の発行など、役場の一部窓口業務について、毎月第2、第4土曜日を開庁します。

平成25年度の施政方針の大綱を申し上げましたが、行財政改革を着実に実施し、行財政運営のより一層の簡素効率化に努め、節度ある財政運営を行いたいと考えています。

私は、町政の基本理念は、町民一人ひとりが健康に恵まれ、安全で快適な生活環境の中で、活力と生きがいのある生活を営むことができる地域社会を形成することであると考えています。

このような社会を実現するため、町民の皆様をはじめ、各方面からのご意見に耳を傾け、何を求めているのかを適確に判断し、その実現のため、今後あらゆる創意と工夫のもとに、地に足が着いた政策を着実に推進していく所存です。

議会の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年度

教育行政方針

学校教育では、坂町の将来を担う子ども一人ひとりが、大切な何かを成し遂げようとするために志を立て、そのために強い精神力を持つて努力し、将来「自立した社会人」として活躍できるような人づくりに努め、社会の変化に的確に対応する英知や技能、人や自然へのやさしさ、創造力豊かな感性、たくましく生きるための意欲などが培えるように、「生きる力」を育む教育を推進し、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に努めます。

生涯学習では、町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し、夢と希望と生きがいを持った生活力等の育成を効果的に図ります。

また、読書の習慣化を図るとともに、児童・生徒が落ち着いて学習に集中できる環境づくりに資するため、「朝の読書」活動を一層充実します。このため、学校図書の実施ととも、図書館へ児童・生徒向け図書の計画的な整備を進めます。

○キャリア教育を推進

今日の厳しい経済情勢や産業・経済及び雇用の構造的変化に伴い、学校生活から職業生活への円滑な移行が難しい状況が生じているため、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付けさせる教育の充実が求められています。

このため、家庭・地域・事業所の協力をいただき、将来を見据えた子どもの勤労観・職業観を育てるため、キャリア教育の充実に努めます。

活が実現できるように取り組むとともに、町民同士の絆や交流・連携を大切にしながら、人が輝くまちづくりを進めます。

とりわけ、道徳心の高揚については、学校教育、生涯学習を通じて、人と人とのつながりを大切に、家庭・学校・地域が一体となつて、取り組むことができるよう努めます。

〈学校教育〉

○「礼節」を基本とした教育を推進

人として正しく生きるための魅力ある道徳教育を推進し、一人ひとりの児童・生徒が夢や希望を育み、未来に向けて自らの人生を切

○環境教育を推進

地球温暖化や自然環境の破壊をはじめとした環境問題は、緊急かつ重要な課題となつています。

豊かな環境を守り、将来に引き継いでいくためには、自主的・積極的に環境保全活動に取り組むとともに、環境問題について学習することが重要であり、特に、21世紀を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要です。

このため、環境負荷の低減効果が期待できる太陽光発電システムを導入した小学校においては、子どもたちが環境についての理解を深め、環境を大切に、環境の保全に配慮した行動がとれるようにするため、社会、理科、家庭科などの教科や道徳、特別活動における環境に関わる内容の充実を図るとともに、「総合的な学習の時間」において環境問題についての学習を展開します。

また、中学校においても、

り拓いていくことのできる力を身につける教育に努めます。

また、地域・保護者の協力を得て、ボランティア活動や自然体験活動、郷土の伝統や文化に親しむ活動などの豊かな体験を通じて、児童・生徒の内面に根ざした道徳性を育み、お互いがお互いを助け合い、認め合う社会を創造し、美しい坂町の自然を大切に、郷土を愛する子どもの育成を図ります。

とりわけ、相手に対する挨拶や言葉遣い、時と場をわきまえた適切な言動をとることのできる「礼儀」や、自分自身についてよく考えて行動し、生活することのできる「節度」については、これら二つを「礼節」として重点化して指導することにより、学ぶ姿勢の礎を築き、確かな学力等の定着・向上につなげます。

なお、「子どもたちは私たち大人の姿を見て育つ」といわれているように、教

職員自らが範を示しながら、教育にあたります。

○体験活動を推進

集団宿泊活動など体験活動を通して、児童・生徒の人間性や社会性を育てる教育を推進します。特に、小学校においては、夏季休業中に「サマースクール」を実施し、家庭や地域の協力を得ながら児童の「豊かな心」、「健やかな体」の育成を図ります。

○確かな学力の向上

広島県「基礎・基本」定着状況調査等の結果によると、各学校ともに、基礎学力はおおむね定着しています。今後は、結果で明らかになった成果や課題を踏まえ、指導内容・指導方法等の改善を進め、年間指導計画をより一層充実し、個に応じたきめ細かな指導を展開します。

また、児童・生徒の学習意欲を高め学習習慣を確立するために、保護者と協力

小学校での環境学習の成果を踏まえ、継続的・発展的に環境学習に取り組みます。

○教職員の資質・指導力の向上

学校が、その教育機能を十分發揮できるかどうかは、教職員の資質・指導力によるところが大きいため、専門職としての知識や能力と、教育への情熱をもった人材の育成に努めます。

教育委員会の主催研修や各学校における校内研修などを充実させ、教えるプロとしての自覚や意欲を高めるとともに、その資質・指導力を最大限に發揮し、信頼される学校づくりに努めます。

○生徒指導上の諸問題対策を推進

不登校やいじめ問題をはじめ、生徒指導上の諸問題の解決を図るために、小・中学校間や保護者との連携を密にし、生徒指導体制の確立やスクールカウンセ

ラーなどを活用した教育相談体制の充実を図ります。不登校については、子どもや保護者の立場にたち、内面に触れる生徒指導を徹底し、児童・生徒理解に努め、不登校の未然防止や不登校児童・生徒の学校復帰に努めます。

また、いじめ問題については、どの子にも、どの学校にも起こりうる問題として切実に受け止め、徹底して取り組むべき重要な課題であるため、各学校においては、いじめ問題の早期発見、早期対応に努め、問題の悪化を防止して解決に結びつけるための取組を推進します。

○情報化に対応した教育を推進

急速な高度情報通信社会の進展に伴い、情報化に対応した教育が求められています。このため、情報活用の実践力、情報の科学的理解、情報社会へ参画する態度などの情報活用能力を、

児童・生徒の発達段階に応じて、身に付けさせる教育を進めます。

また、各学校に整備した情報機器を各教科等の指導手段として有効活用し、学習効果を高めます。

○特別支援教育を充実

児童・生徒の自立や社会参加を図るために、一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、その持てる力を高め、障害による生活上や学習上の困難を克服するよう、適切な指導や必要な支援を行います。

このため、各学校においては、障害のある児童・生徒の個別的教育支援計画を作成するとともに、通常学級に在籍する児童・生徒を含め、特別な配慮が必要となる児童生徒支援の個別の指導計画を作成し、その活用に努めます。

また、特別支援教育コーナーディネーターを中心に校内体制を整え、関係機関や専門家等との連携を積極的に

進めるとともに、研修の充実にも努め、指導内容や指導方法を工夫改善します。

○国際化に対応した教育を推進

わが国や郷土の伝統や文化を正しく理解し、日本国民としての自覚と誇りをもった児童・生徒を育成します。

国旗・国歌を尊重する精神を育成し、坂町の伝統や文化を取り入れた教育活動を積極的に進め、それらを継承し、発展させる意欲をもった児童・生徒の育成に努めます。

また、小学校においては、1年生から4年生までは英語に慣れ親しませる学習を、また、5・6年生では小学校学習指導要領に示されている外国語活動を、引き続き実施し充実させます。

中学校においては、外国語（英語）において、コミュニケーション能力の基礎を養うことが目標となっているため、昨年度に引き

続き、外国語指導助手を活用した授業を実施します。

○安全・安心な学校環境の整備

児童・生徒の安全確保及び災害時における地域住民の避難場所を確保するための学校施設は、全ての学校施設の耐震化が完了しました。

今後は、学校施設の適切な点検及び維持管理に努めるとともに、大雨土砂災害や地震・津波などによる災害から身を守るため、定期的に避難訓練を実施し、また、町主催の避難訓練に積極的参加するなど、防災教育を充実させ、さらに、本年度から、気象に関する警報発令時の対応等について、各学校から保護者に一斉メールを送信する緊急時一斉メール配信システムを導入し、自然災害発生時等の児童・生徒の安全確保にも努めます。

○食育を推進

「食」は、生きる上での基本であり、知・徳・体の基礎となるべきものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することのできる人間を育てる食育の推進が求められています。

このため、栄養に関する専門性を持つ栄養教諭を中心として、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、学校給食を通じて地場産食材の活用に努めます。

○体力・運動能力の向上

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きくかわつており、「生きる力」の重要な要素です。

坂町の児童・生徒の体力・運動能力の状況については、体力・運動能力調査の結果によると、全体的に改善の傾向にあるものの、

広島県や全国の平均を下回っている種目も残っています。

そのため、各学校では、調査結果を踏まえ、体力づくり改善計画を作成し、小学校体育や中学校保健体育の授業をはじめ、学校教育活動全体の取組の工夫改善を進め、児童・生徒の体力づくりを計画的に推進します。

○開かれた学校づくりを推進

各学校は、学校だより、授業参観、学校ホームページ等により積極的に学校の情報発信するとともに、地域人材を活用した授業の実施や、地域の行事への積極的な参加など、児童・生徒と地域住民等の交流機会の充実を図り、保護者や地域住民等から理解と協力を得るよう努めます。

このほか、「学校へ行こう」週間も充実させ、「開かれた学校づくり」を推進します。

○学校経営基盤の強化

望ましい学校経営を推進するため、学校評価制度・人事評価システムや学校評議員制度等の充実、校務規程の整備等を図り、校長を中心として、教職員が組織で対応できる学校運営体制の確立に努めます。

〈生涯学習〉

○学習機会の提供

町民一人ひとりが心豊かに潤いのある日々を送るため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の場と情報の提供に努めます。

特に、地域で子どもを育てる環境づくりを推進し、親子のふれあいを大切にしたりした事業や家庭教育に関する情報の提供などによる家庭教育の支援を行いつつ、子どもたちの健全育成のための体験機会の充実に努めます。

また、豊富な経験・技能と意欲を備えた高齢者をはじめとする幅広い世代の方々が、主体的な学習や社

会活動が行えるよう、学習要求と学習課題を把握し、生き甲斐の持てる活動を推進し、異世代交流事業の支援に努めます。

○生涯学習環境の整備を推進

多様な学習ニーズに応えるため、町民センターや図書館等を活動拠点とした、生涯学習環境の整備とネットワークの強化を図り、生涯にわたり生きがいをもつて暮らし、学習活動ができる「文化の香り高い坂町」の実現に努めます。

昨年度から着手している（仮称）町民交流センターの整備を本格化し、平成26年度前半の完成を目指して、建設工事を行います。

新しい施設は、本来の体育施設としての機能に加え、坂地区における拠点避難所という機能整備に重点を置き、併せて、文化行事にも対応できる施設として整備し、町民の交流拠点として活用を図り、生涯学習環境の充実に努めます。

○図書館の読書活動を推進

子どもの読書活動については、坂町子ども読書活動推進計画に基づき、読書に関する講座や絵本の読み聞かせの開催など、楽しみながら自主的に読書に親しむ環境づくりを目指します。

県立図書館の蔵書については、インターネット予約貸出サービスにより、坂町立図書館で貸出し・返却が可能です。これらのサービスの啓発に努め、貸出の活用促進を図ります。

○生涯学習推進体制を充実

社会の変化や町民の学習ニーズに応じた学習機会の提供や、学習活動をより豊かで魅力あるものとするため、中心的役割を担う指導者やコーディネーターの確保と育成に努め、生涯学習を推進する体制の確立を図ります。

○生涯スポーツを推進

各年齢層に応じた各種事業を推進し、一人でも多く

の人にスポーツに親しんでもらえるようスポーツの更なる普及活動を展開します。特に、子どもの体力の低下傾向が指摘されるなか、家庭・学校・地域が連携して子どもが積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲を培う環境づくりに努めます。また、健康の維持増進や、コミュニケーション活動の促進を図るウォーキング活動の普及に努め、関係機関と連携して、坂町悠々健康ウォーキング大会等を開催します。

して子どもの教育にあたることが最も大切であることから、家庭・学校・地域が一体となって道徳心を高める意識啓発活動のより一層の充実を図ります。また、青少年育成坂町民会議や学校等と連携を密にして、あいさつ運動や道徳作文、青少年の主張等への参加を促進するなど、あらゆる機会をとおして、他人を思いやる心や善恵の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーを身につけることや、相互に助け合える地域社会の形成に努め、道徳心の高揚と実践力の育成に努めます。

○放課後子どもプラン等を充実

子どもたちが放課後や週末等の自由な時間を安全・安心に活動できるよう地域の方々の手で学習活動を提供する「放課後子ども教室」や、町民センター等で実施する「子どもチャレンジ講座」の更なる充実

めます。概ね10歳までの児童を対象とした「留守家庭児童会」は、放課後子ども教室と連携し、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成と子育て支援の充実に努めます。

○芸術・文化活動の振興

芸術・文化を大切にする社会の実現を図っていくための環境を整えるとともに、引き続き、「坂町歌」「坂町音頭」の普及と活用振興を図り、地域に根ざした芸術・文化活動がより一層、活発に推進されるように努めます。

また、芸術・文化団体やサークルの育成と支援を継続するとともに、文化協会及び関係機関・団体等と連携を密にして、伝統文化や芸術などの活動が活発に展開されるよう、情報の提供や発表・参加機会の場の拡充を図ります。

特に、郷土芸能については、後継者育成が大きな課題

題であり、町民への普及啓発や団体活動の支援とともに、地域・行政などと連携して、保存伝承活動の充実に努めます。

○町史の普及・活用

平成16年度から町史編さん事業を推進してきましたが、この間、町内外の多くの皆さんの協力を得て、坂町に関する膨大な量の資料を調査・収集し、これを刊行物に反映させることができました。

今後は、歴史資料の普及を図ることを目的に、刊行された町史の企画展示、講演などを開催します。

また、資料の中には、町史に掲載できなかった情報や、新たに判明した史実なども含まれますが、この膨大な資料を死蔵・散逸させることなく、歴史資料を適切に保存し、未来にむけて活用していくよう選別、整理作業等に取り組みます。

○国際交流の推進

21世紀を担う青少年が広く世界に目を向け、海外の多様で異なる文化・生活・習慣などに直接触れることにより、国際的な感覚で物事を考える豊かな心を育み、国際化に対応できる人材の育成を目指します。

このため、幼少期から英語に慣れ親しむための英語講座や語学講座、国際理解講座、町内に居住する外国人と交流する講座などの開催により、他国の文化や習慣等について理解を深め、国際的な視野をもった人材の育成に努めます。



平成25年第1回坂町議会（定例会）が3月4日に開会され、提案された案件がすべて可決されました。

【決まった議案等】

●平成24年度坂町一般会計補正予算（第5号）

国の補正予算に伴う経費を追加計上したことや、その他、歳入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算に3億9879万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億9684万7千円とするもの

●平成24年度坂町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

保険給付費、療養諸費の減額や、その他、歳入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、こ

れまでの予算から1192万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を16億7314万9千円とするもの

●平成24年度坂町下水道事業特別会計補正予算（第3号）

公共下水道事業費の減額、その他、歳入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算から2533万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を7億8867万8千円とするもの

●平成24年度坂町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

保険給付費の減額、その他、歳入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算から5638万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を11億2877万6千円とするもの

●平成24年度坂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

めます。

概ね10歳までの児童を対象とした「留守家庭児童会」は、放課後子ども教室と連携し、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成と子育て支援の充実に努めます。

○芸術・文化活動の振興

芸術・文化を大切にする社会の実現を図っていくための環境を整えるとともに、引き続き、「坂町歌」「坂町音頭」の普及と活用振興を図り、地域に根ざした芸術・文化活動がより一層、活発に推進されるように努めます。

また、芸術・文化団体やサークルの育成と支援を継続するとともに、文化協会及び関係機関・団体等と連携を密にして、伝統文化や芸術などの活動が活発に展開されるよう、情報の提供や発表・参加機会の場の拡充を図ります。

特に、郷土芸能については、後継者育成が大きな課題

後期高齢者医療広域連合納付金の減額、その他、歳入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算から137万円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億5119万2千円とするもの

●坂町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等に関する条例の制定について

介護保険法の一部改正に伴い、地域の自主性及び自立性を高めるため条例を制定するもの

●坂町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の制定について

介護保険法の一部改正に伴い、地域の自主性及び自立性を高めるため条例を制定するもの

●坂町新型インフルエンザ

等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴い、国や県と連携を図り、まん延防止に関する措置を講じるため条例を制定するもの

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について

人事院勧告等により、職員の給与を改正するもの

●坂町障害程度区分判定等審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について

障害者自立支援法の名称変更に伴い、条例を改正するもの

●坂町敬老年金条例の廃止について

坂町第2次行政改革推進計画に基づき、条例を廃止するもの

●坂町葬祭料条例の一部改正について

呉市斎場の火葬料変更に伴い、葬祭料を改正するもの

○国際交流の推進

21世紀を担う青少年が広く世界に目を向け、海外の多様で異なる文化・生活・習慣などに直接触れることにより、国際的な感覚で物事を考える豊かな心を育み、国際化に対応できる人材の育成を目指します。

このため、幼少期から英語に慣れ親しむための英語講座や語学講座、国際理解講座、町内に居住する外国人と交流する講座などの開催により、他国の文化や習慣等について理解を深め、国際的な視野をもった人材の育成に努めます。

に伴い、葬祭料を改正するもの

●平成25年度坂町一般会計予算

対前年度比14・1%増の57億3356万9千円の予算総額とするもの

●平成25年度坂町国民健康保険事業特別会計予算

対前年度比2・0%減の16億3383万円の予算総額とするもの

●平成25年度坂町下水道事業特別会計予算

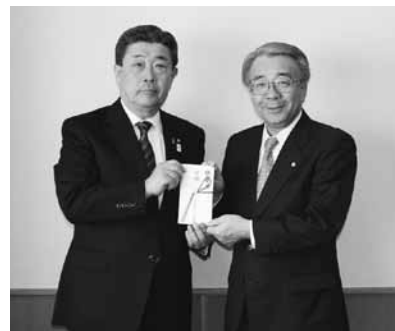
対前年度比13・7%減の7億305万円の予算総額とするもの

●平成25年度坂町介護保険事業特別会計予算

対前年度比3・2%減の11億4048万1千円の予算総額とするもの

●平成25年度坂町後期高齢者医療特別会計予算

対前年度比4・8%増の1億5856万1千円の予算総額とするもの



▲左から吉田町長、トヨタ部品広島共販(株)米沢社長

トヨタ部品広島共販株式
会社から、坂町内の小・中
学校にテント8張（各学校
2張）を寄付していただき
ました。
ありがとうございました。

寄付の受納について



本大会は、公衆衛生及び
環境や健康に関する実践活
動の発表や、体験交流を通
じ、安芸郡4町の公衆衛生
推進協議会における今後の
実践活動の効果的な推進を
目的に開催されています。
坂町からは、海田地域公
衆衛生推進協議会の平成24

3月15日(金)に坂町民セ
ンターで、海田地域公衆衛
生推進大会が開催されまし
た。

海田地域公衆衛生 推進大会



坂町消防団幹部としての
永年の功労に対し、坂町
消防団副団長 岸田憲生氏
(坂東一丁目)に、消防庁
長官から永年勤続功労章が
授与されました。

消防庁長官表彰受章



迫 吉夫氏
(小屋浦一丁目)



地区衛生組織活動功労者表彰
石渡 英明氏
(坂東四丁目)

年度のスローガンである
「ウォーキングを入口とし
た環境と健康づくり」につ
いて実践発表をしました。
また、地区衛生組織活動
功労者表彰も行われ、永年
にわたり、地域の公衆衛生
の向上・推進に貢献された
功労者に対し、次の方に海田
地域公衆衛生推進協議会か
ら表彰状が授与されました。

南加坂郷友会から 送金が届きました

南加坂郷友会は、アメリ
カ合衆国・カリフォルニア
州に移住された坂町出身者
の方々が、お互いの親睦を
図ることを目的として、大
正15年10月に創立されまし
た。

坂町からは、毎月「広報
さか」を通して、会員の方
々に近況をお知らせしてい
ますが、このたび、南加坂
郷友会から、温かいメッセ
ージと共に、広報紙の郵送
料にと送金(250ドル)
が届きました。
早速、この志は有効に運
用させていただきます。南
加坂郷友会会員の皆様、あ
りがとうございました。
今後、益々ご活躍される
ことを心よりお祈りいたし
ます。

安芸消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器を設置された皆様へ！

- 取扱説明書をよく読んで、適正な維持管理に努めましょう。
- ※バルサン等の使用により誤って警報器を作動させ、困り果てる前に必ず使用上の注意を守りましょう。
- 火災警報器の交換時期にも気を付けましょう。

設置がお済みでない方は、早期設置が必要です！

問合せ 安芸消防署坂出張所 ☎885-0100

タバコの投げ捨てはやめよう！

2月の火災件数
0件（年間累計1件）

2月の救急件数
49件（年間累計105件）



第2回坂町悠々健康ウォーキング大会 たくさんのご参加、大変ありがとうございました。

3月24日(日)、中国電力坂スポーツ施設をスタート・ゴールとする第2回坂町悠々健康ウォーキング大会が開催されました。

当日は、春らしい陽気の中、県内外から集まった1,039名の参加者が、10km、5km、2kmの3コースに分かれて、元気に出発し、町内の公園・史跡等をつなぐウォーキングトレイルや遊歩道を歩きながら、坂町の青い海と緑の山を楽しみました。

完歩した参加者は、笑顔で完歩証を受け取り、女性団体が作った「かき雑炊」に舌鼓を打ちました。また、健康づくりコーナー（広島県国民健康保険団体連合会後援）には、体力や血管年齢などを測定しようとたくさんの参加者が集まりました。

ご参加いただいた皆様、協賛いただいた企業各社、町内各種団体のお陰で、大会は大成に終えることができました。皆様に心よりお礼を申し上げます。

これからも、継続してウォーキングを楽しみ、健康づくりに励んでいただき、来年も笑顔での参加を心よりお待ちしております。



開会式



さか・なぎさ公園



森山一周道路



横浜公園（桜の下を歩く参加者）



竹林をぬけて



頭部みはらし公園付近

水尻ベイサイド遊歩道から
瀬戸内海の島々を眺める参加者

おいしいかき雑炊をどうぞ

健康づくりコーナー
（献立診断）

坂町は、平成22年8月1日に町制施行60周年を迎えたのを記念して、ウォーキングを通じて健康でたくましい「こころ」と「からだ」をつくるため、「悠々健康ウォーキングのまち」を宣言しました。

第2回坂町悠々健康ウォーキング大会写真展 4月10日(水)～4月27日(土)（町民センター）
大会当日の様子を撮影した写真展を開催しますので、ぜひ、ご覧ください。

春の全国交通安全運動 4月6日(土)～4月15日(月)

■平成25年 年間スローガン

点減で 止まれる君は 金メダル

運動の重点目標

- 1 自転車の安全利用の推進
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶

保護者の皆さんへ

- 正しい横断の仕方を身につけるように繰り返し教えましょう。
- 保護者自ら交通規則を守り、手本を示すようにしましょう。

ドライバーの方へ

- 通学(園)路、生活道路等を通行するときは、飛び出しなどを予測した運転を心掛けましょう。
- 駐車車両があるときは、車の陰に注意しましょう。



軽自動車税の減免について

身体障害者の方、または、精神障害者の方が使用される車両等で、一定の要件に該当する場合には、申請により軽自動車税が減免されます。

納期限の7日前(平成25年度分は、4月23日(火))までにご相談ください。

◎問合せ 役場税務住民課 ☎820-1503

平成25年度 固定資産税に係る縦覧等について

縦覧帳簿による縦覧及び固定資産課税台帳の閲覧を次の日程で実施します。

《縦覧帳簿による縦覧》

固定資産税の納税者が「自己の土地や家屋の評価額」と「町内の他の土地や家屋の評価額」とを比較できます。

○縦覧内容

・土地価格等縦覧帳簿

課税対象土地の所在、地番、地目、地積、価格

・家屋価格等縦覧帳簿

課税対象家屋の所在、家屋番号、種類、構造、床面積、価格

※所有者の情報や税額等は、縦覧の対象には含まれません。また、複写による手渡しもできません。

○縦覧対象者

・土地価格等縦覧帳簿

町内に土地を所有し課税されている方

・家屋価格等縦覧帳簿

町内に家屋を所有し課税されている方

○縦覧期間

4月1日(月)～4月30日(火)
(土曜開庁日以外の土曜日、日曜日及び祝日を除く)

○縦覧時間

【平日】8:30～17:30

【土曜開庁日】8:30～12:30

○縦覧場所 役場税務住民課(1階)

○手数料 無料

《固定資産課税台帳の閲覧》

自己の資産が確認できるほか、借地・借家人や権利関係人も、対象資産を限定して閲覧できます。

○閲覧期間

通年(土曜開庁日以外の土曜日、日曜日及び祝日を除く)

○閲覧時間

【平日】8:30～17:30

【土曜開庁日】8:30～12:30

○閲覧場所

役場税務住民課(1階)

○手数料

縦覧期間中は無料。それ以外是有料。

◆縦覧、閲覧等に必要なもの

縦覧、閲覧等できる方であるかどうかを確認するため、次のものがが必要です。

- ・納税通知書、課税明細書(提示)
- ・運転免許証、保険証等(本人確認ができるもの)
- ・印鑑
- ・借地、借家の契約書や権利関係を証する書面

※いずれも代理の場合は、委任状が必要です。

◆その他

4月上旬に送付する納税通知書に固定資産の価格等を明記した課税明細書を添付しています。自己資産の課税内容については、この明細書で確認できます。

◎問合せ 役場税務住民課 ☎820-1503

犬の登録・予防注射について

犬の登録は生涯に1回、狂犬病予防注射は毎年1回受けなければなりません。

飼い犬を登録しないで、鑑札を付けず、また予防注射を受けなかった場合には罰金が課せられることもあります。

また、動物病院で、狂犬病の予防注射を接種され、「狂犬病予防注射済証」を交付された方は、役場環境防災課で「狂犬病予防注射済票」(交付手数料550円)の交付手続きを行ってください。

未登録の犬	新規登録手数料	3,000円
	狂犬病予防注射実施手数料	2,500円
	注射済票交付申請手数料	550円
	合 計	6,050円

登録済の犬	狂犬病予防注射実施手数料	2,500円
	注射済票交付申請手数料	550円
	合 計	3,050円



犬の登録は必ず行い、犬の散歩の時にはフン等の後始末をするなど飼い主の方は責任をもって飼いましょう。

とき	ところ	時 間
4/23 (火)	上条児童遊園地	9:30～10:10
	西側新木車庫	10:30～10:50
	正原池公園下	11:10～11:30
	保健センター前	13:00～13:20
	新張公園	13:30～13:50
	コミュニティーホールさか前	14:10～15:00
4/24 (水)	丸子踏切横	9:30～10:00
	植田中央公園	10:20～11:00
	畝ヶ丘団地入口	11:10～11:30
	鯛尾消防格納庫前	13:00～13:30
	西児童遊園地横	13:40～14:10
	横浜ふれあいセンター前	14:20～15:00
4/25 (木)	水尻公園	9:30～9:50
	天地川公園	10:10～10:40
	向田児童遊園地	10:50～11:10
	小屋浦ふれあいセンター前	11:20～11:40
	坂町役場(町民ひろば)	13:00～14:00

— 問合せ —
役場環境防災課 ☎820-1506

愛の献血に ご協力ください

4月7日（日）

9：00～12：00 小屋浦ふれあいセンター
14：00～15：30 町民センター

- 種類 400ml献血のみ
- 年齢 男性 17～69歳
女性 18～69歳
- 基準 男女とも体重50kg以上の方

採血された方には、7項目について血液検査を行い、ご本人に通知します。
ご自分の健康管理のためにも、献血にご参加ください。

※安全で責任のある献血のため、ご自身を証明できるものを提示してください。

※65歳以上の方の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

◎社会福祉協議会 ☎885－2611

第2・第4土曜日に 役場の一部窓口を 開庁しています

坂町では、第2・第4土曜日、役場庁舎の一部窓口を開庁しています。

平日、役場に来庁されることができない方は、どうぞご利用ください。

【開庁日】第2・第4土曜日

【開庁場所】役場庁舎1階

【開庁窓口及び問合せ】

税務住民課 ☎820－1502

保険健康課 ☎820－1504

民生課 ☎820－1505

※業務の内容によっては、本人確認ができるものや印鑑、その他書類が必要となる場合があります。

※業務によっては、受付できないことがありますので、事前にお問合せください。

4月1日から

坂町葬祭料が改定されます

坂町葬祭料条例の改正により、葬祭料が次のとおり改定されます。

	改定前	改定後
大人（11歳以上）	35,000円	42,000円
小人（11歳未満）	20,000円	33,600円
死産児	14,000円	16,800円

◎問合せ
役場税務住民課 ☎820－1502

行政連絡員変更

長い間、町政にご協力いただきました、次の行政連絡員の方が退任され、新しい次の方がお世話をしてくださることになりました。

(敬称略)		
(地区名)	(前任者)	(後任者)
刎条地区第1	梶谷 正義	吉野 恵
上条地区第3	畝 三千男	車地 健二
横浜一部地区第4	池上 至	平田 司
植田地区第1	山田 照子	北山 和司
植田地区第4	花房 孝明	河崎 松雄

敬老年金支給の廃止について

今年度から敬老年金の支給を廃止します。
また、その財源は高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成等、保健福祉の増進等に活用させていただきます。

◎問合せ
役場保険健康課 ☎820－1504

募集 安芸地区ホスピスボランティア講座受講生

緩和ケアの基礎知識、がん治療の最新治療情報、在宅緩和ケアなど、ホスピスについて学び、ボランティアに参加しましょう。

■とき 5月11日（土）～10月5日（土）（全9回）
14：00～16：30

■ところ 安芸市民病院 他

■定員 40名

■受講料 5,000円

■申込み 役場保険健康課、保健センター、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンター、図書館に設置の専用申込書にて申し込んでください。

■申込締切 4月30日（火）必着

◎問合せ

畑賀地区社会福祉協議会 ☎827－0083

安芸市民病院 ☎827－0121

役場保険健康課 ☎820－1504

月 日	内 容
5/11（土）	ボランティアとは 緩和ケア病棟におけるボランティアとは
5/25（土）	在宅緩和ケアの看護の実際
6/22（土）	患者と家族に対するコミュニケーション
7/6（土）	がん治療の最新情報 在宅緩和ケアとは
7/20（土）	グリーフケア（遺族のケア） 在宅ホスピスボランティアの現状
8/10（土）	緩和ケア病棟における看護の実際 緩和ケアの基礎知識
8/24（土）	介護の実際 遺族の思い・家族の思い
（未定）	公開講座
10/5（土）	緩和ケアにおける施設の役割 閉講式

あなたの健康をサポートします!!

赤ちゃんからお年寄りまでの健康に関する相談を、保健センターの保健師や栄養士が電話や面接でお受けします。どなたでもお気軽にご相談ください。

乳幼児、子どもと親

身体計測、育児、発育、発達、子育ての悩みなどの相談

大人

身体計測、こころと体の健康などの相談



電話相談
面接相談

月～金曜日（年末年始、祝日を除く。）9：00～17：00
（行事等で保健師等が対応できない場合がありますので、**事前にご連絡ください。**）

◎問合せ 保健センター ☎885－3131



広島広域都市圏

広島東洋カープ共同応援の実施

概要

中国地方で唯一のプロ野球チーム「広島東洋カープ」を支援するため、広島広域都市圏内住民から参加者を募り、共同応援を行います。

主催

広島広域都市圏協議会

※広島広域都市圏協議会は、広島市と通勤・通学や買物などでつながりの深い、西は山口県の柳井エリアから東は三原エリアまでの11市12町の圏域全体の発展を目指し、連携して様々な交流を行っています。

内容

- ◆日時／6月8日（土）13時30分試合開始
- ◆対戦相手／埼玉西武ライオンズ
- ◆会場／マツダスタジアム（広島市南区南蟹屋二丁目3番1号）
- ◆募集人数／300人（申込多数の場合は抽選）
- ◆参加費／3歳以上、1,500円（外野指定席券）
- ◆応援方法／外野指定席で、広島広域都市圏としてまとまって応援します。
- ◆その他／参加者全員に選手フォトうちわをプレゼントします。

申込み

- 小学生以下の場合、大人の同伴が必要です。
- 往復はがき（1枚に5人まで）に、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、4月19日（金）（※消印有効）までに、下記事務局（〒730-8586住所不要）へ。

広島市企画調整課内・広島広域都市圏協議会事務局 ☎504-2017

広島市水道局からのお知らせ

平成25年度水質検査計画の公表及びご意見募集



広島市水道局では、平成25年度水質検査計画（水質検査項目、検査回数など）を公表し、水質検査計画へのご意見を募集します。計画内容は、広島市水道局ホームページで閲覧できます。また、坂町役場、広島市水道局安芸営業所の窓口でも印刷物を配布します。

■意見の提出方法

郵送、FAX、メールで、広島市水道局水質管理課（〒739-1732 広島市安佐北区落合南六丁目1-1）へ。広島市水道局ホームページからも提出できます。

◎問合せ 広島市水道局水質管理課
☎843-4421 FAX843-6141
メールアドレス suishitu@city.hiroshima.lg.jp
ホームページアドレス
http://www.water.city.hiroshima.jp/

坂町子どもの読書推進事業

図書館こどもまつり

4/27(土)

時間 9:00～13:00
ところ 図書館



体験！図書館の仕事をしてみよう
9:00～13:00（受付は12:30まで）

絵本の読み聞かせコーナー（幼児・児童向け）
10:30～11:00

ミニ絵本体験コーナー
11:30～13:00（受付は12:30まで）

◎問合せ 図書館 ☎886-3280

国民年金からのお知らせ

前納すると、国民年金保険料が割引されます！



国民年金の保険料は、まとめて納めることができます。

保険料を前納した場合はその期間に応じて、保険料が割引されます。

平成25年4月から
月額15,040円

平成25年度 国民年金保険料 納入額早見表（現金納付・口座振替比較）

	1か月分		6か月		1年度分	
	保険料額	割引額	保険料額	割引額	保険料額	割引額
毎月納付（納付書による現金納付及び翌月末振替の口座振替）	15,040円		90,240円		180,480円	
毎月振替・【早割】当月末振替の口座振替	14,990円	50円	89,940円	300円	179,880円	600円
6か月前納（現金納付）			89,510円	730円	179,020円	1,460円
6か月前納（口座振替）			89,210円	1,030円	178,420円	2,060円
1年前納（現金納付）					177,280円	3,200円
1年前納（口座振替）					176,700円	3,780円

※現金で前納をする場合は5月1日（水）までに納めてください。

お支払は日本年金機構から送付される納付書で、全国の銀行、郵便局、農協、漁協、信用組合、信用金庫、労働金庫、コンビニエンスストアで納めることができます。（コンビニエンスストアなら、夜間、土日、祝日でも納められます。）

※現金での前納は、1年度（12か月分）や6か月分だけではなく、任意の月分から年度末までの分を前納することもできます。この場合、専用の納付書が必要となりますので、広島南年金事務所までお問合せください。

◎問合せ 広島南年金事務所 ☎253-7710

坂町の民具Ⅱ

②5 裁縫鋺

和服を仕立てるのに使われる用具、つまり和裁用具には、針・糸のほかにもいろいろなものがありますが、写真の裁縫鋺（焼鋺）もその一つです。普通、20～30cmの鉄製の本体に、木製の柄を付けて熱さを防ぐ仕組みになっています。用途は一通りではなく、仕立てる布に折り目を付けたり、火熨斗やアイロンが届かない部分の、小さなしわを伸ばすのが一番の役目ですが、布を縫い合わせるために、あらかじめ、へらでつけた縫い目の印を、よりはっきりさせるのにもよく使われます。

焼鋺の名前から分かるように、使うときには熱が必要ですが、鋺自体には熱源はありません。そこで、後に電気鋺ができるまでは、仕事場に炭火を入れた小さな火鉢を置き、鋺をその火のそばの灰に立てたり、中に五徳があれば、その上にかけて熱します。大切なのは用途に適した温度ですが、仕立て台の上に置いた布に当ててみて、焦げないか、しわがきちんと伸びるかなどを確かめます。時には直接指先を、一瞬鋺に触れて試したりすることもあります。火傷をするほど熱いときは、体の表面で最も温度の低い耳たぶをつかんで、熱さをしのぐ場合もあったようです。

（坂町文化財保護委員）



明治末期から昭和30年代

町営住宅入居者募集



○町営平成ヶ浜住宅1号館

特定公共賃貸住宅（子育て世帯向け定期借家）【保育園併設】

募 集 戸 数 【309号室】 3LDK（約73㎡／戸）

家賃限度額 54,000～79,600円／月（収入階層による）

駐車場使用料 3,000円／月（駐車場は、団地外の近接場所となります。）

◆入居資格

- 同居しようとする親族に平成20年4月2日以降に生まれた児童がいる世帯であること。（妊娠中を含む）
- 入居申込者もしくは同居者が坂町出身者（その親または祖父母のいずれかが坂町出身者の場合を含む。）、または町内に一定期間（現在まで3か月以上継続して）住所を有すること。もしくは一定期間（現在まで2年以上継続して）坂町内に勤務地を有すること。（※住所を有するとは、坂町の住民基本台帳に記載のあること。）
- 日本国籍を有すること。
- 納付すべき税等（町県民税、所得税等）を滞納していないこと。
- 収入が基準以内であること。

※入居申込者全員の年額所得の合計が、定められた基準範囲であること。（裁量階層あり）

※特定公共賃貸住宅の政令月収が158,001円から259,000円であること。収入の詳細については、源泉徴収票等収入のわかる関係書類を持参し、役場産業建設課にご相談ください。

- 入居申込者もしくは同居者が暴力団員でないこと。

注）妊娠中の方は、母子健康手帳または医師の証明が必要です。

注）入居資格等詳しいことについては、役場産業建設課にお問合せください。

◆入居の条件

- 借地借家法に基づく定期借家であるため、入居期間は入居した時から5年間とします。
- 入居後5年を経過する時点で、未就学児または就学後3年以下の児童があり入居申込者が希望する場合には、最年少の未就学児童が就学したときから3年を限度に再契約することができます。
- 虚偽の申請による申込みの場合、入居申込者もしくは同居者が暴力団員と判明した場合には、入居許可を取り消し、住宅の明け渡しをさせていただきます。

◆平成ヶ浜住宅に併設される保育園のお知らせ

平成ヶ浜住宅には保育園が併設されており、平成ヶ浜住宅に入居される方で、保育園の入園条件に該当する場合には、優先的に入園することができます。

○ベイシティー坂

募 集 戸 数 【904号室、1303号室】 3LDK（約80㎡／戸）

家賃限度額 32,900～48,900円／月（収入階層による。※限度額あり）

駐車場使用料 5,000円／月

◆入居資格

- 同居親族（婚約者を含む）があること。
※婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある人、または婚約者のうち仲人の婚約証明書があること。
- 入居申込者もしくは同居者が坂町出身者（その親または祖父母のいずれかが坂町出身者の場合を含む。）、または町内に一定期間（現在まで1年以上継続して）住所を有すること。もしくは一定期間（現在まで2年以上継続して）坂町内に勤務地を有すること。（※住所を有するとは、坂町の住民基本台帳に記載のあること。）
- 日本国籍を有すること。

- 納付すべき税等（町県民税、所得税等）を滞納していないこと。

- 収入が基準以内であること。

※入居申込者全員の年額所得の合計が、定められた基準以内であること。

※公営住宅の政令月収が158,000円以内の方。収入の詳細については、源泉徴収票等収入のわかる関係書類を持参し、役場産業建設課にご相談ください。

- 入居申込者もしくは同居者が暴力団員でないこと。

注）入居資格等詳しいことについては、役場産業建設課にお問合せください。

◎申込期間及び方法 4月1日（月）～4月12日（金）（土日を除く）

申込書に必要事項を記入し、必要書類（申込みのしおり参照）を添えて申し込んでください。

※申込当日は必ず印鑑を持参してください。

◎受付場所及び受付時間 役場3階 産業建設課（8：30～17：30）

◎選考方法の概略 入居申込者が募集戸数を超える場合には、公開抽選により入居候補者及び補欠入居候補者を決定します。

◎入居可能時期 別途通知します。

◎入居申込書及び申込みのしおり

役場産業建設課、町民センター、坂公民館、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンター、B & G 海洋センターにて配布します。また、坂町ホームページからもダウンロードできます。

（<http://www.town.saka.hiroshima.jp/sakacho/>）

◎問合せ 住宅に関すること：役場産業建設課 ☎820-1512 保育園に関すること：役場民生課 ☎820-1505

福祉

◎問合せ 役場民生課 ☎820-1505

自立支援医療（育成医療）について

平成25年4月1日から、育成医療の窓口が県から市町に変わります。

■育成医療とは

身体に障害を有するか、残存する疾患をそのまま放置すると将来障害を残すと認められる18歳未満の患者さんを対象に、手術等の医療費を助成する制度です。

■対象となる疾患

- ①視覚障害
- ②聴覚・平衡機能の障害
- ③音声・言語・そしゃく機能の障害
- ④肢体不自由
- ⑤心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、もしくは直腸、小腸機能または肝臓機能の障害によるもの
- ⑥心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、もしくは直腸、小腸機能または肝臓機能の障害を除く先天性の内臓機能障害
- ⑦ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害
- ⑧人工透析療法（腎臓機能障害）、抗免疫療法（腎移植術後、心移植術後、肝臓移植術後）、中心静脈栄養法（小腸機能障害）

■自己負担額

医療機関に支払う患者さんの自己負担は原則として医療費の1割ですが、所得の状況等に応じて月額負担限度額が定められています。なお、入院時の食事療養費は助成の対象になりません。

※詳しくは、役場民生課までお問合せください。

難病等の方々が障害福祉サービス等の対象となります。

平成25年4月に施行される障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病等の方々が加わります。

対象となる方々は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等の受給が可能となります。

■対象者 対象疾患（130疾患）による障害がある方々。

■手続き 対象疾患に罹患していることがわかる証明書（診断書または特定疾患医療受給者証等）を持参の上、窓口で支給の申請をしてください。

その後、障害程度区分の認定や支給認定等の手続きを経て、必要と認められたサービスを利用できます。

※詳しくは、役場民生課までお問合せください。

高等技能訓練促進費事業等が父子家庭の父も対象になります。

平成25年4月1日から、高等技能訓練促進費事業、自立支援教育訓練給付金事業が、父子家庭の父も対象となります。

■高等技能訓練促進費事業

就労に役立つ資格（看護師など）を取得することを目的とし、資格養成機関で2年以上のカリキュラムを受講するひとり親家庭の父または母の生活の安定を図るため、訓練促進費を支給する制度です。

■自立支援教育訓練給付金事業

就労による自立を目指し、就労に有利な資格取得のため教育訓練を受講するひとり親家庭の父または母に対して、自立支援教育訓練給付金を支給する制度です。

※詳しくは、役場民生課までお問合せください。

健康さか21

～1に運動 2に食事 よい習慣で健康生活～

こころの健康について理解を深めよう
～ひきこもり状態について（Part 1）～

「ひきこもり」とは、様々な要因の結果として、義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家の外での仲間との交遊などの社会参加を避けて、一応6か月を目途に、それ以上にわたっておおむね家庭にとどまり続けている状態です。この「おおむね家庭にとどまり続ける」という状態には、外出はできるが他者とは関わらない、例えば人目を避けながら本屋へ行く、深夜にコンビニエンスストアに行くといった場合も含んでいます。

❀ 外出したくない、人に会いたくないのはなぜ？

残念ながら、ひきこもりに一言でいえるような原因はありません。人は環境からのストレスと対処するこころの力とのバランスが崩れると、不健康なこころの状態に陥る危険が高まります。バランスが崩れた状態が長く続けば、不安や緊張が高まったり、精神的な疲労がたまり、やがて社会不安障害やパニック障害、あるいはうつ病性障害と呼ばれるこころの病気にかかります。大半のひきこもりは何かのこころの病気を背景として、社会活動の場にとどまることができなくなった状態と捉えるべきでしょう。



❀ ひきこもっている人が感じていること

ひきこもりの状態にある本人には、そのことに強い苦痛を感じている場合と、さほど苦痛を感じていない場合があります。苦痛を感じている本人は、どのようなことに悩んでいるのでしょうか。

ひきこもり状態にあること自体が苦痛

「ひきこもりから抜け出したいが、そのきっかけをつかめない」「ひきこもってから長く時間が経ってしまい、どうして良いかわからない」などです。

ひきこもりの原因にもなったこころの病気の症状による苦痛

「外に出ることを考えるだけで緊張し、怖くてたまらなくなる」「憂うつで気力が出ず、焦るばかりで苦しい」「外に出ようとすると、体がひどく不調になる」などです。

家族関係から抜け出せない苦しみ

「家族とのやりとりがづらい」「批判されたり、叱られたりしそうで嫌」「親や兄弟と顔を合わせないようにしている」「母親にわがママをぶつけてしまう」などです。

❀ 大切なのは、これらの悩みや苦しみを解決したいと思った時が、克服の好機だということですよ

また、現状を一気に変えようとすることはお勧めできません。ひきこもってから、それなりに時間が経っている場合には、慎重に階段を上るように一段一段、社会活動への参加を目指していく必要があります。時には逆戻りしたりすることもあるのです。

❀ まずは相談を！！

このような階段を上って社会活動へと近づいていく道の中には、適切なコーチがいると安心です。ひきこもりの苦しみには精神医学的な支援が欠かせない場合も少なくありません。本人または身近な家族は、支援を求める声を上げましょう。次の機関へ、まずは電話で相談してください。

機 関 名	電話番号	住 所
広島ひきこもり相談支援センター (中部・北部センター)	893-5242	広島市安芸区中野東四丁目5-25-2 F (Senoリバービレッジ内)
広島県立総合精神保健福祉センター	884-1051	安芸郡坂町北新地二丁目3番77号 (済生会広島病院隣)
広島県西部保健所広島支所	513-5521	広島市中区基町10-52 (県庁内)
広島県西部こども家庭センター (18歳未満の子どもの相談)	254-0381	広島市南区宇品東四丁目1番26号

(参考資料：厚生労働省ホームページ「みんなのメンタルヘルス総合サイト」
「ひきこもり」に困ったら・・・ 回復へのヒントを考えるパンフレット 監修・伊藤潤一郎)

◎問合せ 保健センター ☎885-3131

保険健康だより



保健センターの行事に参加の方は町内循環バスをご利用ください。自家用車でお越しの方は、役場駐車場または丸子児童遊園地横の町有地をご利用ください。



筋力アップ教室

今月は開催しません。

100万歩歩いて元気になろう会

と き	と ころ
4月18日(木) 9:30～11:30	町民センター



持 参 物 タオル、バスタオル、お茶、
筆記用具、体操マット
申込締切 4月17日(水)
(初めて参加される方のみ)
※運動ができる服装・靴で、ご参加ください。
【申込み・問合せ】保健センター ☎885-3131

育児相談・赤ちゃんの歯の相談
(0～12か月の赤ちゃん)

とき・ところ (受付時間)	対 象	内 容
4月12日(金) 小屋浦ふれあい センター (13:15～13:40)	0～12か月の 赤ちゃん	計測、健康相談、 栄養相談
4月22日(月) 保健センター (13:15～13:55)	5～12か月の 赤ちゃん	計測、健康相談、 栄養相談、 <u>歯科 相談</u>



▲歯科相談

【問合せ】保健センター ☎885-3131

食生活改善推進員による健康料理教室

と き	と ころ・申込み先	テー マ
4月19日 (金)	小屋浦ふれあいセンター ☎886-8003	簡単・スビ ード・ヘル シー料理
4月23日 (火)	保健センター ☎885-3131	
4月23日 (火)	横浜ふれあいセンター ☎885-0014	

時 間 10:00～13:00
持 参 物 エプロン、三角巾、米75g
申込締切 開催日の3日前までに、各会場へ
【問合せ】保健センター ☎885-3131

こどもの健診

健診名	と き	対 象
1歳6か月 児健診	4月17日 (水)	平成23年8月23日～平成 23年10月17日生まれの子
乳児健診	4月24日 (水)	平成24年11月7日～平成 25年1月15日生まれの子
3歳児健診	5月8日 (水)	平成21年12月1日～平成 22年2月2日生まれの子
2歳児 歯科健診	5月9日 (木)	平成23年1月1日～平成 23年3月31日生まれの子

と ころ 保健センター
受付時間 13:00～13:40
※対象者には個人通知をします。
【問合せ】保健センター ☎885-3131

ポリオ予防接種



既にお知らせしていますが、ポリオ予防接種は、平成24年9月から不活化ワクチンに変更されています。

例年4月に実施していたポリオ生ワクチンの集団接種は、実施しません。

微小粒子状物質（PM2.5）について

微小粒子状物質（PM 2.5）とは

- 大気中に漂う粒径 $2.5\mu\text{m}$ （マイクロメートル）以下の小さな粒子のことで、非常に小さい（髪の毛の太さの1/30程度）ため、呼吸器の奥深くまで入りやすく、健康への影響が懸念されています。（マイクロメートルは、ミリメートルの1/1000）
- 発生源としては、ボイラー、焼却炉等のばい煙を発生する施設、コークス炉、鉱物の堆積場等の粉じんを発生する施設、自動車、船舶、航空機等、人為起源のもの、さらには土壌、海洋、火山島の自然起源のものがあります。

微小粒子状物質（PM 2.5）の環境基準

平成21年に環境省が「1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること」、として設定しています。

微小粒子状物質（PM 2.5）の高濃度による注意喚起

- 微小粒子状物質（PM2.5）については、注意報等の基準が定められていませんので、微小粒子状物質（PM2.5）に関して発令を行うことはありません。しかし、微小粒子状物質（PM2.5）が大気中で高濃度になると予測される場合、防災行政無線等で注意喚起を行います。注意喚起を行うのは、微小粒子状物質（PM2.5）が環境基準の2倍にあたる $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ （環境省が暫定指針して定めたもの）以上になると予測される時に行います。

注意喚起が出された時

- なるべく外出を控えましょう。
- 屋外と屋内の換気を控えましょう。
- マスクを着用しましょう。
- ぜんそくが持病の方や高齢者、乳幼児は特に気を付けてください。

◎問合せ 役場環境防災課 ☎820-1506

子宮頸がん
予防ワクチン

ヒブワクチン

小児用肺炎球菌
ワクチン

の接種について

これまでは
任意接種

予防接種法
改正による

平成25年4月から
定期接種

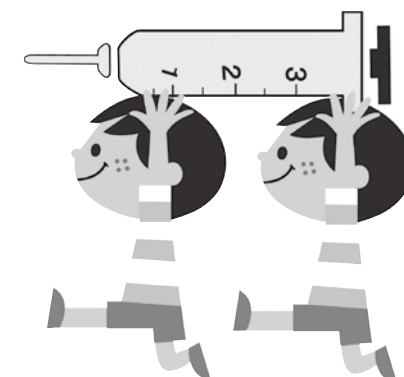
対象者は次のとおりです。必ず、事前に予約の上接種してください。

【子宮頸がん予防ワクチン】

接種時に坂町に住民登録がある方で、下表の生年月日の方。

助成対象者（平成25年度）	
学 年	生年月日
小学校6年生相当	平成13年4月2日～平成14年4月1日
中学校1年生相当	平成12年4月2日～平成13年4月1日
中学校2年生相当	平成11年4月2日～平成12年4月1日
中学校3年生相当	平成10年4月2日～平成11年4月1日
高校1年生相当	平成9年4月2日～平成10年4月1日

*対象者には個別に通知します。



【ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン】

接種時に坂町に住民登録がある方で、接種時に生後2か月以上60か月未満の方。

助成対象者（接種初回年齢）		接種間隔・回数(接種初回年齢によって異なります)
ヒブワクチン	生後2か月以上7か月未満	初回免疫：27日（医師が認める場合は20日）～56日の間隔で3回接種 追加免疫：初回免疫終了後、7か月～13か月の間隔において1回接種
	生後7か月以上12か月未満	初回免疫：27日（医師が認める場合は20日）～56日の間隔で3回接種 追加免疫：初回免疫終了後、7か月～13か月の間隔において1回接種
	生後12か月以上60か月未満	1回接種のみ
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月以上7か月未満	初回免疫：27日以上の間隔で3回接種。3回目の接種は12か月未満に完了 追加免疫：3回目の接種後、60日以上の間隔において1回接種（標準として、生後12か月～15か月の間に行うこと）
	生後7か月以上12か月未満	初回免疫：27日以上の間隔で2回接種 追加免疫：2回目の接種後、60日以上の間隔において生後12か月以降に1回接種
	生後12か月以上24か月未満	60日以上の間隔において、2回接種
	生後24か月以上60か月未満	1回接種のみ

*予防接種券、予診票をお持ちでない方は、役場保険健康課または保健センターにお問合せください。

◎問合せ 役場保険健康課 ☎820-1504 保健センター ☎885-3131

幼稚園就園奨励費補助金制度のご案内

坂町では、幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図ることなどを目的として、幼稚園就園奨励費補助金制度を実施しています。

1 対象

坂町に住所を有する満3歳児から5歳児で、私立幼稚園に通園する園児の保護者で年収680万円以下の世帯

2 申込方法

幼稚園から配布される「保育料等減免措置に関する調書」に必要事項を記入し、必要書類を添えて指定された期日までに幼稚園に提出してください。

途中入園した場合は、各幼稚園にご相談ください。

3 必要書類

- (1) 生活保護法による保護を受けている方…生活保護受給証明書
- (2) その他の世帯…平成25年度町民税・県民税課税台帳記載事項証明書（請求される時には「幼稚園就園奨励費申請用」と申し出てください。）

4 就園奨励費の金額 <平成25年度 就園奨励費限度額一覧表（年額）>

区分	対象世帯	就園奨励費限度額			
		小学1～3年生に兄・姉を有していない場合		小学1～3年生に兄・姉を有している場合	
		1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	同一世帯から3人以上就園している場合の左以外の園児	小学校1～3年生の兄・姉を1人以上有している、最年長就園児
A	生活保護世帯	229,200円	268,000円	249,000円	308,000円
B	市町村民税非課税世帯	199,200円	253,000円	226,000円	
C	市町村民税所得割課税世帯（77,100円以下）（年収360万円以下）	115,200円	211,000円	163,000円	
D	市町村民税所得割課税世帯（211,200円以下）（年収680万円以下）	62,200円	185,000円	114,000円	

◎問合せ 坂町教育委員会事務局 学校教育課 ☎820-1524 gakukou@town.saka.hiroshima.jp

保育所だより

★坂保育所

年長児主催・レストランごっこ ～4月には夢いっぱい1年生～

保育所修了を前に、献立作成からクッキングまでを企画実践して、レストランを開いた年長児。

招待された異年齢の子ども達から「おにいちゃん、かっこいい!!」「おねえちゃん、おいしかったよ!!」「楽しいことをたくさん考えてくれて、ありがとう!!」の声が聞かれ、年長児には笑顔がいっぱい溢れました。

ちょっぴり難しいことにみんなで挑戦して得た満足感や達成感を胸に、心も体も元気な1年生になってほしいと願っています。



「いらっしゃいませ!!」
ここはジュース屋さんだよ



デザートのプリン屋さんに並ぶ年中児



カップ寿司を作る年長児



子育て応援隊



なかよし広場（前期）



なかよし広場は、親子での遊びを通して育児文化を大切に、楽しく学びあっていくグループ活動です。

☆実施期間

- 【1歳児】 5月7日（火）～10月15日（火）
第1・3火曜日（全10回）
（平成23年4月2日～
平成24年4月1日生まれ）
- 【2歳児】 5月9日（木）～10月17日（木）
第1・2・3木曜日（全15回）
（平成22年4月2日～
平成23年4月1日生まれ）

☆時 間 10:00～11:30

☆参 加 費 （おやつ・材料代）

【1歳児】1,500円

【2歳児】2,500円

☆定 員 各10組（兄弟同伴は各3組まで）

☆申込期間 4月8日（月）～15日（月）

☆申込方法 子育て支援センターに直接またはメールで。（申込み多数の場合は、抽選にて決定します。）

【メールの場合】

親子の氏名・お子さんの生年月日・住所・電話番号・同伴兄弟の有無（生年月日）を記入してお送りください。

nakayoshihouse-nw@dune.ocn.ne.jp

◎問合せ 子育て支援センターなかよしハウス ☎820-1770

おすそわけ講座 ～手づくり味噌講座～

体も心も育てる味噌づくりを体験してみませんか。試食もしましょう。

☆と き 4月16日（火）
10:30～12:00

☆と ころ 子育て支援センターなかよしハウス

☆講 師 子育て支援センター スタッフ

☆対 象 乳幼児（0～5歳）を子育て中の家族

☆定 員 10組

☆参加費 1家族につき250円

☆持参物 おむすびと軍手またはビニール手袋

☆申込み 4月10日（水）までに子育て支援センターへ直接、または電話で。（定員になり次第締め切り。）

◎問合せ 子育て支援センターなかよしハウス ☎820-1770

所庭開放

子育てをともに考えたり、遊びを紹介する場として、毎月1回、保育所を開放しています。

☆と き 5月2日（木） 受付 9:30～
10:00～11:00

☆と ころ 坂保育所、小屋浦保育所

☆対 象 町内の入所（園）前の乳幼児と保護者

☆持参物 水筒

◎問合せ 坂 保 育 所 ☎885-0126

小屋浦保育所 ☎886-8002



出前広場



お花見気分でお遊ぼう！

4月から開催日が変更になりました。
（毎月第2・4火曜日）

と き	と ころ
4月9日（火） 10:00～11:30	尾鷹公園
4月23日（火） 10:00～11:30	北新地公園 （子育て支援センターを10時に出発します。直接、公園に行かれてもOKです。）

*申込不要、どなたでも

☆持参物 タオル、水筒等

※雨天の場合…子育て支援センターなかよしハウス

◎問合せ 子育て支援センターなかよしハウス ☎820-1770

お父さん出番ですよ！

育児講座

～そば打ち名人になろう～

家族みんなで、『お父さんの力』を応援しよう。

☆と き 4月13日（土）10:00～12:00

☆と ころ 子育て支援センターなかよしハウス

☆講 師 中村 竜也 氏

☆対 象 乳幼児（0～5歳）を子育て中の家族

☆定 員 5組 ☆参加費 1家族につき900円

☆持参物 エプロン、三角巾

☆申込み 子育て支援センターへ直接、または電話で。（定員になり次第締め切り。）

◎問合せ 子育て支援センターなかよしハウス ☎820-1770

子育てオープンスペース（ぱおばお）

みんなでのんびり過ごすスペースです。
ホッと一息つきに来ませんか。

☆と き 4月17日（水）
10:00～12:30
（時間内 出入自由です。）



☆と ころ 町民センター

☆スタッフ 子育て支援サークルぱおばお

☆対 象 0～3歳の子どもと家族・子育てに関心のある方ならどなたでも
*申込不要、無料

図書館だより 第96号

● 開館時間 ●
火～金 9:00～20:00、土日 9:00～17:00

● 休館日 ●
毎週月曜日、図書整理日26日(金)、29日(月)昭和の日
☎886-3280

<http://www.town.saka.hiroshima.jp/sakacho/>
坂町ホームページから「坂町立図書館」をクリックしてください。

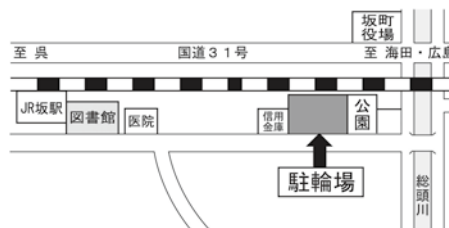
坂町立図書館

検索

Click

図書館利用者用駐輪場をご利用ください。

図書館利用の自転車駐輪場は、丸子児童遊園地横の町有地をご利用ください。
※図書館閉館時には、出入り口を施錠します。



展示コーナー

春ですよ～
4月28日(日)まで

おはなし会

ところ 図書館 おはなしルーム
時間 10:30～11:00

くれよんグループ
4月18日(木)

にこにこグループ
4月25日(木)

折り紙体験コーナー

とき 4月17日(水)
10:30～11:30
ところ 図書館 多目的閲覧室
内容 あやめ
持参物 おりがみ、サインペン、はさみ、のり

新刊のご案内

一般書

「ちょうちんそで」 江國香織／著
「書聖王羲之」 魚住和晃／著
「輝天炎上」 海堂尊／著

児童書

「あいうえおのせきがえ」 宮下すずか／作
「モッキンバード」 キャスリン・アースキン／著
「おみまい、おことわり？」 ケイディ・マクドナルド・デントン／絵
その他、多数あります。

この本読んでみて！

『ひとりになっても、夢中になれることをお持ちなさい』 三星 静子／著
うちこめるものがあつたから、体の痛み、家族の死を乗り越えられた。ひとり暮らしを続け25年。2013年で100歳になる古きれコラージュ作家の著者が、幸せな人生をつくる25の秘訣を教える。

オススメ図書コーナー

「アレルギーに克つ！」

現代では、アレルギー症状が身体に現われて悩む人が急増しています。食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・花粉症・金属アレルギーなどの予防や治療についての基本書をご紹介します。

ベストセラーズ

(3月3日 中国新聞)

1	ビブリア古書堂の事件手帖4	三上延
2	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾
3	聞く力	阿川佐和子
4	広島カープ物語	トーク出版
5	天風録書き写しノート	中国新聞社

2月の貸出ベスト3

一般書

「欠落」 今野敏／著
「ビブリア古書堂の事件手帖2」 三上延／著
「洗浄便座は危ないの？」 倉田正／著

児童書

「おしりをしりたい」 鈴木のりたけ／作
「もうすぐもうすぐ」 岡田千晶／作
「かいけつゾロリのはちゃめちゃテレビ局」 原ゆたか／作・絵

図書館からのお知らせ

- ・ こどもの読書週間(4月23日～5月12日)にあわせて、4月27日(土)に『図書館こどもまつり』を開催します。詳しくは、本紙21ページをご覧ください。
- ・ 今月は、4月26日(金)が図書整理日となっていますので、お気をつけください。

満1歳の誕生日おめでとう



おおくほ はるか
大久保 遥空くん
(植田四丁目)
平成24年4月3日生まれ
いつも笑顔の遥空くん♡1歳おめでとう！これからも天使の笑顔で、みんなを幸せにしていね。



こせん せいしろう
小仙 清士郎くん
(平成ヶ浜二丁目)
平成24年4月3日生まれ
生まれてきてくれて、ありがとう。心も体も強い清ちゃんに成長してほしいな。兄ちゃんと仲良くね。



さえき るい
佐伯 壘くん
(坂東一丁目)
平成24年4月4日生まれ
お誕生日おめでとう。元気に大きくなってくれたことに感謝です。これからも、たくさん笑顔をちょうだいね。



あべ しはる
阿部 詩春ちゃん
(坂東二丁目)
平成24年4月20日生まれ
小さな君が、泣いたり笑ったり。ただそれだけで、僕はとても幸せです。君が生まれた春に感謝。



みやざき あらた
宮崎 新くん
(小屋浦二丁目)
平成24年4月22日生まれ
丸ごとぜんぶかわいい あーくんの笑顔に癒されているよ★いっぱい遊んで、大きくなあれ♪



かねたに あやの
金谷 彩乃ちゃん
(横浜中央一丁目)
平成24年4月23日生まれ
お誕生日おめでとう。彩乃の笑顔が大好きよ。これからも、笑顔いっぱい楽しい時間を一緒に過ごそうね。



おきむら だいち
沖村 大地くん
(平成ヶ浜二丁目)
平成24年4月25日生まれ
1歳の誕生日おめでとう♡大地の可愛い笑顔に家族みんなが癒されているよ♡大好きなお兄ちゃんと一緒に切磋琢磨しながら、たくましく大きくなってね♪



ひらまつ みなみちゃん
平松 みなみちゃん
(横浜中央三丁目)
平成24年4月27日生まれ
みなみちゃん、1歳の誕生日おめでとう♡これからも、たくさんの思い出を作っていこうね♪

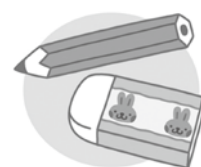
5月に1歳の誕生日を迎える、町内にお住まいのお子さんの写真をお寄せください。
氏名(ふりがな)・住所・生年月日・電話番号・コメント(40文字程度)を明記し、役場企画財政課に持参または送付してください。期限は、4月10日(水)。
◎問合せ 役場企画財政課 ☎820-1507

第7回広島県障害者陸上競技大会の開催・出場選手の募集について (兼第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」広島県代表選手選考会)

- とき／5月12日(日)※雨天決行
受付 8:20～ 開会式 9:20～ 競技 10:00～(予定)
- ところ／東広島運動公園(アクアパーク)陸上競技場(東広島市西条町田口67-1)
- 参加資格／平成25年4月1日現在、13歳以上で広島県に在住する身体障害児・者及び知的障害児・者及び精神障害者(広島市在住の方は除きます。)
- ※身体障害は身体障害者手帳を所持している方。(内部障害児・者はぼうこう、または直腸機能障害のみ)
- ※知的障害は療育手帳を所持している方、または医師の診断等により適当と認められた方
- ※精神障害は精神障害者保健福祉手帳を所持している方、または医師の診断等により適当と認められた方。ただし、全国障害者スポーツ大会の個人競技種目に精神障害者の区分がないため、代表選手選考の対象とはなりません。
- 申込み／所定の申込書でお申込みください。(実施要綱等はスポーツ交流センターホームページ・広島県のホームページに掲載しています。)4月5日(金)締切。
- ◎問合せ スポーツ交流センター TEL 082-425-6800 FAX 082-425-6789
ホームページアドレス <http://www.rehab-hiroshima.org/ori-shin/webdir/184.html>
メールアドレス oridsuru@rehab-hiroshima.gr.jp



平成25年度 こども教室 学級生募集



ところ：町民センター

教室名	講師名	開催曜日・時間・（初回受講日）	対 象	定 員	受 講 料
こども 絵画工作教室	神田 康子氏	第1・3土曜日 （第1週が祝日のため初回5/11） 幼児10：00～ 小学生11：00～	幼児～ 小学6年生	幼 児 12名 小学生 20名	初回受講日と後 期の年2回納入
こども 英会話教室	クリスティーン氏	第2・4土曜日（5/11） 13：30～15：00	小学 1・2年生	25名	前期(5月～9月) 4,000円 （こども料理教 室は、2,000円）
こども ヒップホップ 教室	松谷 絵梨氏	第2・4土曜日（5/11） （低学年）小学1～3年生 10：00～10：45 （高学年）小学4～6年生 10：45～11：30	低学年 高学年	20名 20名	後期(10月～3月) 4,800円 （こども料理教 室は、2,400円）
こども 料理教室	井野口明子氏	第2水曜日（5/8） 15：00～17：00 授業が遅くなった場合、授業終了 後の参加可能	小学1年生 ～ 小学6年生	16名	* 1 回分400円 で試算。納入し た受講料は返却 しません。 （材料費等別途 必要）
こども 硬筆教室	玉澤 恵氏	第2・4水曜日（5/8） 15：00～17：00 授業が遅くなった場合、授業終了 後の参加可能		20名	
こども マナー教室	中村 照子氏	第1・3土曜日 （第1週が祝日のため初回5/11） 14：00～16：00		20名	
わくわく チャレンジ スクール		第4土曜日 （5月のみ第3土曜日5/18） 10：00～12：00	小学3年生 ～ 小学6年生	60名	入会時1,000円 （材料費等別途 必要）

【受付期間】 4月3日（水）～4月14日（日）

【受付場所】 町民センター、坂公民館、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンター

【受付時間】 町民センター：火曜日～金曜日 9：00～21：00、土曜日・日曜日 9：00～17：00
その他の施設：月曜日～金曜日 9：00～17：00

【申込方法】 上記の受付場所にある所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

※申し込み多数の場合は、4月20日（土）10時から抽選（保護者の立会い可能）を行います。

抽選の対象となった方には、4月17日（水）までに電話でご連絡します。

申込みの際には、日中に連絡可能な電話番号等をご記入ください。

先着順ではありませんので、ご注意ください。

※受講生が少ない時は、開催できない場合もあります。

【問合せ】 町民センター ☎820-1515 〈月曜日・祝日 休館日〉

生涯学習だより (第133号)



☆町民センター展示

ブルーシー作品展

4月10日（水）～5月8日（水）

鬼頭純平作品展

4月16日（火）～5月19日（日）

【今月の休館日】

☆町民センター、B&G海洋センター
毎週月曜日、29日（月）昭和の日

【ホームページアドレス】

<http://www.town.saka.hiroshima.jp/sakacho/>

坂町町民センター

検索 Click

きのうよりちがう新しい自分との出会い！

新しいことを人とふれあいながら学んだりすることは、自身の生活を心豊かなものにしてくれます。学ぶことの楽しさや、すばらしさを仲間と共に共感することによって、「もっと知りたい」、「学び続けたい」という気持ちが湧いてくるでしょう。

町民センターでは、町民のみなさんの「学びたい」という気持ちを支援できるように多彩な内容の講座を開催しています。毎月「広報さか」に掲載しますので、是非ご覧ください。なお、今月は別紙配布の「出会い、ふれあい、学びあい」にて自主グループを紹介しています。みなさんふるってご加入ください。

春のメイクアップ講座

今年流行の色味で、トータル的なメイクバランスを簡単なヘアアレンジも交えて学びましょう。

と き 4月25日（木）19：00～20：30
と ころ 町民センター 視聴覚教室
講 師 真江木 麻美 氏
対 象 どなたでも
持 参 物 普段お使いのメイク道具
定 員 20名
参 加 費 500円
申込締切 4月18日（木）

【申込み・問合せ】 町民センター ☎820-1515



友遊サタデー

みんなで遊びにおいでよ！

と き 4月13日（土）9：30～11：30
と ころ 各小学校体育館
内 容 レクリエーション・スポーツ
（ファミリーバドミントン・ティー
ボール等）

対 象 小学3年生～6年生
持 参 物 タオル、水筒、上履き
主 催 坂町スポーツ推進委員協議会
申 込 み 当日各会場で受け付けます。

※運動ができる服装でご参加ください。

【問合せ】 B&G海洋センター ☎884-2525



放課後子ども教室 ボランティア募集

子ども達の笑顔とふれあってみませんか

坂町教育委員会では、放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすための居場所を設け、さまざまな体験活動や地域住民との交流活動を行う「放課後子ども教室」を実施しています。

そこで、子ども達と一緒に活動したり、子ども達を見守ってくださるボランティアを募集しています。活動日数は相談に応じます。見学からでも構いません。

活動場所 坂公民館・横浜小学校・小屋浦ふれあいセンター

活動日時 毎週水曜日の放課後（祝日は実施しません）

活 動 例 スポーツ活動、絵本の読み聞かせ、昔遊び、折り紙、子どもの見守り など

◎問合せ 町民センター ☎820-1515

あたたかい
心のもしび



次の方々から、社会福祉
事業資金としてご寄付をい
ただきました。厚くお礼申
し上げます。

(2月受領分・敬称略)

◎香典返し寄付者

藤田 公平 (坂東一丁目)
野村 定己 (坂東一丁目)
中下 伸 (坂東二丁目)
松村 三重子 (坂東三丁目)
中村 カヨコ (坂東四丁目)
山本 孝 (坂西一丁目)
久保 俊秀 (坂西二丁目)
山口 重文 (横浜東二丁目)
金子 浩美 (横浜東二丁目)
藤吉 美智子 (横浜中央二丁目)
松本 美智恵 (植田四丁目)
西谷 征士 (小屋浦二丁目)
金子 忠 (広島市)

◎一般寄付者

中 君恵 (横浜東二丁目)

よろこび



おめでとうございます

2月届出分 敬称略

かなしみ



おくやみ申し上げます

2月届出分 敬称略

則川 結音 (坂東一丁目)
屋鋪 友美 (坂東一丁目)
松本 玲吏 (坂西三丁目)
樽岡 心絆 (平成ケ浜二丁目)
八代 成泰 (平成ケ浜二丁目)
大西 航絢 (平成ケ浜五丁目)
柚木 草介 (横浜中央三丁目)
立畠 来美 (小屋浦一丁目)

野村 フジ子 (坂東一丁目)
藤田 健太郎 (坂東一丁目)
中下 ミサコ (坂東二丁目)
久保 トシエ (坂西二丁目)
金子 スミ子 (横浜東二丁目)
山下 孝秀 (横浜西二丁目)
前岡 スエコ (植田三丁目)
奥谷 正壽 (植田四丁目)
西谷 コミツ (小屋浦二丁目)
向井 輝政 (小屋浦三丁目)
山口 久之 (83) (小屋浦三丁目)

このコーナーに掲載を希
望しない方は、届出の時
に申し出てください。

第63回

ようよう坂町ウオーキング ～ お花見ウオーク～

とき

4月7日(日) 受付 9:00～
ウオーキング 9:30～11:30

コース

広島文化学園大学→坂中学校→尾鷹公園(桜)→「世界の石」
ロード→坂町漁協前→森山ジョギングコース(山桜)→鯛尾地区
→横浜公園(桜)→広島文化学園大学(約6km、約2時間)

集合場所・解散場所/広島文化学園大学 広島坂キャンパス

参加費/200円(保険料など)

対象/どなたでも(ただし、小学3年生以下は保護者同伴)

持参物/水筒、タオル、雨具、その他必要と思われるもの

◎申込み・問合せ

広島文化学園大学 広島坂キャンパス

☎884-1001(平日9:00～17:00)

*当日申込みも可能ですので、ふるって、ご参加ください。



今月の納税

4月1日(月)

国民健康保険税…第12期分
介護保険料(1号)…第12期分
後期高齢者保険料…第9期分

3月26日(火)に口座振替をしました。

4月30日(火)

固定資産税…第1期分
軽自動車税…全期
国民健康保険税…第1期分
介護保険料(1号)…第1期分

口座振替日 4月26日(金)

口座振替の登録をされている方は、口座振替日
の前日までに残高の確認をお願いします。